

簡便なアサリ二段選別機を試作しました

当センターでは、生物系特定産業技術研究支援センターの「革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）H28～30」において、広大な陸上池（面積 1.5ha）でのアサリ人工種苗生産技術の開発に取り組んでいます。この技術開発の一環として、陸上の池で生産したアサリ稚貝を効率よくサイズ選別するための手動タイプ二段選別機（本体重量：19kg、全長：150cm、幅：40cm）を試作しました。

この選別機は、みのる産業株式会社製の回転土ふるい機（SC-1、価格 2.7 万円）のドラムを 2 個連結し、アサリの稚貝選別に適したふるいに改造したものです。選別機の第一選別ドラムを 10mm 目の金網とし、第二選別ドラムを 13mm 間隔のスリット構造とすることで、概ね殻長 16mm 以下の稚貝、16～25mm サイズの稚貝、25mm 以上のアサリに選別することができます。また、ウミニナなどの小さな夾雑物の多くを 16mm 以下の小貝とともに取り除きます。

本機はアーク溶接機やディスクグラインダーがあれば安価に製作できます。ドラムに装着した金網は容易に交換でき、スリットの間隔を変えることで成貝の選別などにも使えます。現在、動力タイプも作成中です。試作にご協力いただいた職員の皆様ありがとうございました。（文責：岸岡正伸）



手動タイプ（重量 19kg、全長 150 cm、巾 40 cm）

手動タイプの材料費

材 料	単価(円)	個数	金額
回転土ふるい機(SC-1)	27,000	2 台	54,000
金網(線径1mm、目合い10mm、0.5×1.2m)	6,000	1 枚	6,000
スリット用硬鋼線(線径2.6mm、1m)	100	30 本	3,000
その他消耗品(溶接棒、塗料など)			5,000
合 計			68,000

*この他、溶接機、鋼材の切断、加工機材(グラインダー、ドリル)が必要です。



動力タイプ（試作中）